


伝達式 対象者

- 長岡組 西楽寺 春日正利
- 長岡組 西楽寺 川上 強
- 三条組 長念寺 山口定一
- 三条組 大音寺 名古屋イミ子
- 三条組 安城寺 小坂井スイ
- 地蔵堂組 勝敬寺 山岡重雄
- 巻組 長光寺 伊藤哲夫

門徒推進員委嘱状伝達式(12月2日)
門徒推進員連絡協議会研修会にて

新潟の
門徒推進員

発行
浄土真宗本願寺派
新潟教区
門徒推進員連絡協議会

第14号

H29年3月1日発行

お慈悲のなかで

新潟教区教務所長

藤田信証

私が宮崎教区教務所長として在任して
いた五年も前のことであります。宮崎大学医
学部のある学生さん達にお話をしたいとの
依頼があり、講義の一コマをいただいたこ
とがありました。そこでお話内容は盛り沢
山で、(ここには書ききれませんが、その後、
記録集的なものを作るので、メッセージを
お願いできませんかという依頼をいただき
ました。結局人事異動の頃であったので届け
仕舞で、御迷惑をかけましたが、下書きを
パソコンに残してあったので、少し紹介を
してみようと思います。

間もなく医師としての人生を歩み始め
られる時期に来ていると思いますので、最

後のメッセージというか、お願いをしておこ
うと思います。どうか、一般的に言われる
技能の優れた医療関係者でありたいと思
うより、人間愛に満ち溢れた医療関係者
であり続けることをめざしていただきたい
と願っています。多くの学びの中で、お一
人おひとりめざす分野は異なると思いま
す。しかし、医療の仕事は「いのち」(単に
生命という意味だけではない)を支える仕
事であると私は考えていますので、大いな
る人間愛の先に、知識や技術の向上、研
究や開発などが付随してくるものと思
います。

という文章です。
簡単に言ってしまうと、医療技術優先の
お医者さんや看護師さんではなく、人間味
溢れた大きな人間愛を持ち合わせた医療関
係者になって欲しいという意味です。
歩む道こそ違えども、私達は大きなお
きな阿弥陀様のお慈悲の中に、人生を歩ま
せていただいています。私にそのことをお
伝えくださった親鸞様や有縁の方々のご恩
を思いながら、皆さんと共に、いのちの尊
厳を大切にしたい、人間愛に溢れた人生を歩
みたいと思います。



会長に就任して



巻組 善了寺
小川省吾(釋願成)
中央教修一四〇回

このたびの役員改選により各組持回り役員という事で巻組の私が長岡組細山さんの後任として教区会長を申し渡されました。何分私には身に余る会長職、前会長とは天と地、足元にも及びません。皆様に御苦労をおかけすること多々あると思えますが宜しくお願ひします。

会員の皆様方におかれましてはご門徒さんとの横のつながりを深められ寺院の年間行事等々に積極的に参加され成果を上げられておりますことお喜び申し上げます。

又、新潟教区においても十一月の新潟別院の冬囲い(除草/竹林伐採等の境内清掃含む)を計画しましたところ、約六十名の会員よりご協力いただき、予定しておりました作業を無事終了することができました。年間中の清掃では雨中の作業もあり参加者には大変ご迷惑をおかけし風邪を引かれた方もおられるのではないかと心配しておりました。ご苦労様でした。

さて、私が門徒推進員になって十余年経ちます。私達の寺では門徒推進員が六名お

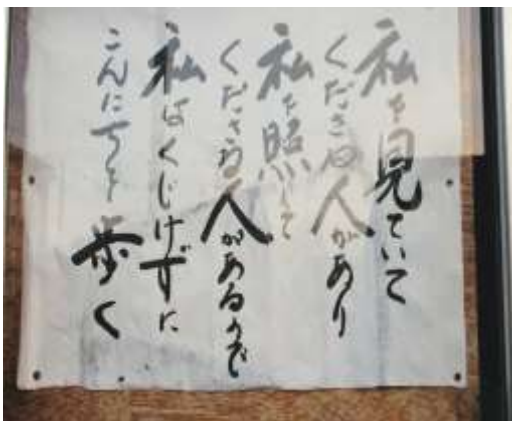
りますが皆で話し合い次の事に取り組みしております。

1. 掲示伝道
2. 寺報の発行
3. お経会
4. 仏教壮年活動
5. 法要の手伝い
6. 子ども会

その中でも私が力を入れてきました事は掲示伝道です。今では多くの方々が立ち止まって見て下さる様になり有り難く思っております。

最後になりますが、門徒推進員同士、情報交換しながらよりよい協議会を運営して参りたいと思ひます。何卒ご理解ご協力を賜りたく宜しくお願ひします。

合掌



★各組門徒推進員の声

《与板組》

伝道への勧め



与板組 雲外寺
丸山正義(釋正義)
中央教修一八七回

私、門徒推進員になって、満八年になります。今までも、これからも活動の基は、仏祖の前で誓った決意「聞法伝道に勤めます」です。八年前の本山は「門信徒会運動・同朋運動」の基幹運動が進められていました。そこから(全員聞法・全員伝道)の願いに、私も右記のように聞法伝道に勤めてきました。現在は活動基盤を広げ、教区の「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)推進計画にそって、特に達成目標(子ども若者ご縁づくり)を進め、地域とお寺のつながりを築く事に心を寄せております。

与板組の実践運動にも同じ達成目標に致します。また、所属寺の住職さんも子ども会に力を入れておられます。私自身、この先仏教が先細りに成る事に心を痛めております。大人の仏教離れなのに心の闇が大きいのは何故かと思っております。

子どもの時に寺への馴染み薄さが大きく左右しておるように思い、子ども若者を寺へと誘う手段として、子ども会に力を入れております。自分の出来る事とは、お寺って楽しいと思ってもらおう事、お寺って暗いというイメージを払拭してもらおう事等を念頭に、出来る事を行う（住職さんとよくよく相談する事）。

今まで実践出来た事は、流しソーメン（流し装置製作）や、バルーン遊び（簡単なもので犬やサーベル、花等を作りました）。この二年間は簡単な法話を担当させていただき、焼香の仕方等も指導役を務め、私自身も楽しみました。

経験の中からの提案ですが、住職さんに苦言を申すのではなく、私に出来る事は何か有りませんかでしょうかと問い、住職さん共々提案し合い、開かれたお寺へと歩ませて頂いたらいかがでしょうか。



合掌



伝灯奉告法要にお参りをして

与板組 明元寺
大矢國衛（釋大覚）

「千載一遇」という言葉があります。大漢和辞典に「再び遇い難い好機」とありました。

去る十一月五日ご本山西本願寺第二十五代専如門主の伝灯奉告法要に与板組の皆さんと参拝し、歴史的な場に身を置く事ができ感銘を受けてまいりました。又、晨朝勤行後の帰敬式では、心地よい緊張感と一種の爽やかさを味わいました。

全国からの多数のご参拝の方々をご本山西本願寺に集い、当日はあの大きな阿弥陀堂と御影堂に分かれ、私達与板組は御影堂の席にて、ご法要が営まれました。しかも両堂同時で行われ、その儀式が両堂のモニターに映し出され進行映像を見ながらお参りをし、大きな二つのお堂が一体になった様は、何か不思議な感覚となり、オーバーな表現をすれば鳥肌が立つ思いをいたしました。

また、法要に引き続き行われた「伝灯のつどい」も両堂同時進行で行われ、阿弥陀堂から「専如ご門主ご夫妻とお二人のお子様方、そして即如前ご門主ご夫妻の「一家」が一緒に移動され御影堂へ登場された時には、その演出に感動しました。そして、即如ご門主のお言葉をお聴きし、又、インタビューの時間もあって、中でもお元気なお子様方の一挙手一投足、そしてお言葉に参拝の方々全員が思わずほほ笑み、心から癒されたのではないかと忘れられません。正に再び経験出来ない機会であったと喜んでおります。

しかし、この大きな貴重な体験を得た喜びの一方で、こんな事が脳裏を掠めたのも事実であります。それは私どもを取り巻く現社会は少子高齢化と、自分が亡くなった時の心配をしておる方もあり、それらに纏わる色々な話題を耳にするのが昨今であり

ます。これら難問にどう向き合って行けばよいのが現実の課題ではないかと。

合 掌

《元上組》

第37回新潟教区仏教婦人会大会



元上組 明鏡寺
田中信子(釋慈恵)
中央教修二二三回

隔年で行われる新潟教区仏教婦人会、今回は元上組主管で開催致しました。役員会の中で話し合われたことは、大会テーマ「次の世代に伝えよう 念仏の声といのちの尊さを」、宗門で推進する「子ども若者ご縁づくり」そして仏婦会員が全員参加し手作りの大会を基に企画致しました。

*大会スローガン

念仏にいかされるよろこびを行動へ
*大会テーマ

次の世代へ伝えよう

念仏の声と命の尊さを

*日程

・開会式

・絵本語りと法話

〈伝えよう次の世代にみ教えを〉

絵本語り…板垣久仁子さん

(阿弥陀寺坊守)

法話…鷲尾純一先生(託念寺住職)

〈くもの糸・たぬきのちょうちん〉

・昼食、ダーナ活動

・いのちの歌コンサート第一部

〈戦災からの復興平和への願い〉

合掌…専徳寺コーラルソカ、カラビアンソカ、アソカジュニア

いのちの歌コンサート第二部

〈金子みすゞの言葉と慈しみの眼差し

を調べにのせて〉
山崎浩さん(声楽家)
沼田秀美さん(ソプラノ歌手)

・閉会式

・閉会式



お念仏のみ教えが次世代に相続されること願うの講演でした。満堂いっぱい仏婦の皆様をお迎えし、最後には鳴り止まぬ拍手を有難く受け止めさせていただきました。出演頂いた皆様、会場にお越し頂いた皆様、見守って頂いた住職様、一緒に大会運営にご尽力いただいた坊守様、ご協力頂いた門徒推進員の皆様、大会に携わった多くの皆様に、そして尊いご縁に「ありがとう」を申しあげます。仏婦会員の手作りの記念品(ティッシュケース入れ、押し花しおり)心を込めての作品です。未永くお使い頂けましたら大変嬉しいです。

合 掌





元上組第十八期連研を終えて



元上組 託念寺
岸 和義(釋賢徳)
中央教修二二五回

二年前から元上組の連研実行委員会の委員長として連研の企画、運営に携わっています。私はまた、教区の研修部会員として教区の連研に関する課題や他の組の活動についても情報を頂ける立場にあり、その結果として元上組の連研の良い点、改善を必要とする点について理解できる立場にありました。

元上組の連研の最大の特徴は、二年間の連研を終えた人達はその次も、更にその次もと継続して連研受講者である所にあります。多くの門徒推進員が繰り返し連研に参加し、話合法座に参加するという事です。この事について「本来の連研の姿から外れている」とのご指摘を頂く事もありますが、連研のツボを抑えてあれば、元上連研の特長になるのではと考えます。

平成二七年春から始まった連研では、今までと比べ幾つかの変更を取り入れていきます。

①新規参加者だけで班を構成した。
②一年終了時と二年終了時にアンケートを行

ない、参加者の思いを把握した。
③会合後に反省会を開催し課題を確認した。
④各会合の記録としてレポートを残した。

特に気を使ったのは、新規参加者がどの様に連研を評価し、満足しているか、という点です。連研ノートEに準拠した連研の運営という命題もある訳ですが、新たに寺にお近づき頂いた方々の思いをより重視して、運営すべきと考えています。

幸いな事にまとまった人数の方々には中央教修に参加頂ける見通しが立っています。今後も形式的な運営でなく、「何か持ち帰る事のできる連研」を目指したいと思っています。

合掌

《三条組》

お寺とのお付き合い



三条組 長念寺
小林忠英(釋善実)
中央教修一四八回

仏教壮年会に約三十年位、門徒推進員に十年位、今も現役で参加していますが、お

寺とは人生勉強、又、こんなに面白い所とは思いませんでした。お寺は親が付き合っていて、自分は盆の墓参り程度で良いと思っていました。

仏教壮年会に参加させてもらい、最初の頃は年配の人達と旅行に行ったり、寺で劇をやったり、又、福岡の徳勝寺様と姉妹提携を結んで行ったり来たりで、特に福岡博多の中洲の屋台へ行った時には、本当に楽しい事ばかりでした。

しかし、行事の前には必ず正信念仏偈や讚仏偈は称えています。時には浄土真宗の生活信条も称えています。本当によい会に入ったと喜んでおります。これもみんな今の長念寺ご住職様と年齢が近いせいか、それとも気が合うのか、合わせてもらっているのか・・・？

また、失敗談ですが、中央研修に行つて最後の決意表明で練習に練習を重ね、これでよしと思っていたのに、その場に行つたら上がつてしまい、全くデタラメの表明をしてしまったことです。

これからも、若くはないので、健康に気を付けて色々参加させて頂こうと思っております。良い仲間が沢山出来て喜んでおります。



合 掌

記念大会に参加して



三条組 長念寺
長谷川由治(釋勝信)
中央教修一六六回

昨年十月三十日、長念寺において仏教青年会結成二十周年大会が開催されました。讚仏偈の後、来賓の方々の挨拶を賜りました。

記念演奏会として、地元栄中学校吹奏楽部員による、演奏会が開かれました。若さあふれる見事な演奏でありました。社会構造の発展により、昨年、十八年から公民権が付与されました。近年では心身に発達されており、立派な大人です。政治に対しても、若者の考えが反映されることを期待します。我が身を振り返ると壮年会発足からの会員でありながら、多々反省する事ばかりです。

毎年六月九日、長念寺壮年会で「聞法の集い」の積み重ねによる今回の記念大会となりました。寺院の方々、地域の方々の協力によって、無事大会が終了いたしました事を感じながら、門徒推進員としてのご縁を頂き、お念仏申しあげます。

合 掌

《地蔵堂組》

門徒推進員中央教修に参加して



地蔵堂組 勝敬寺
山岡重雄(釋慈照)
中央教修二四八回

地蔵堂組第七期連研を、平成二十六年九月に参加させて頂き、十五回の連研を平成二十八年二月に無事終了することができ、中央教修のおすすめのお話をお聞きし参加させて頂きました。

中央教修の前日の夕方に京都に入り私の孫が四月から京都の大学に入学し、孫と夕食を共にして夜を過ぎし就眠。翌日は朝五時起床し本願寺に入り晨朝参拝に参加。十二時から受付、一クラス七班の班割り、私は二班七名の方々と四日間を共にする事となりました。

指導していただく講師は、福岡教区の志摩田真生先生、福井教区の浅井一典先生、受講者は福井県から二名、兵庫、岐阜、山陰、山口県の各地からの参加者、男性四名女性三名の班となり四日間班別討議仲間でした。



合掌

始めはなかなか皆さんが遠慮して話し合いがうまく出来ませんでした。先生の指導でスムーズに話し合いが出来てきて、いろいろ大変勉強になりました。第一日目の法座一は(であい)御同朋の社会をめざす運動、二十三時就眠、二日目からはいつも五時起床、晨朝参拝、法座二はみ教えからの気づき。法座三は御同朋の社会とは、昼食、夕食をとり八時三十分まで話し合い、二十三時就眠。三日目の法座四は救いと歩み(浄土)、十三時から示談、決意表明式の練習をしてから十九時に参加者全員で暗い本堂に入り、参加者一人ひとりが自分の心に思っている事を阿弥陀様に伝える儀式。とても緊張して、私も皆さんも言葉になりませんでした。

四日間の最後の日は、参加者全員で全体会議、反省会、そしてお昼から懇親会で盛り上がり解散しました。

出会いは驚きと発見、発心と出立、そこから始まる。中央教修に参加させて頂き、大変勉強になりました。

《新潟組》

新潟組第十二期連続研修会終了!



新潟組 信生寺
長場昭一(釋弘宣)
中央教修一三五回

待望の十二期連続研修会で八名の修了者に、新潟市中央区光林寺様に於いて新潟組長の川井善樹(円満寺)様より修了書授与式が行われ無事終了いたしました。

連研の内容は「連研ノートE」

問1 私にとって幸せとは何でしょうか。
2 葬儀や法事は何のためにするのですか。

3 老いてなくなることがわかっていても受け入れられません。

4 お浄土とは何ですか。

5 私は神様も仏様も信じていますが、それでは、いけないのですか。

6 なぜ部落差別はなくならないのですか。差別の自覚無し、何をしたら良いでしょうか。

7 環境や臓器移植などの社会問題は宗教が入り込む事で無いと思いませんか。

8 戦争を無くし、平和を築き上げるには。

9 自他ともに心豊かに生きるには、どのようなことでしょうか。

連続研修会の今一つは、二十七年、二十八年と連続で妙高赤倉ホテルの有縁講に参加して聴聞できたことです。二十七年の話には、与板組光源寺ご住職清水正朋先生より聴聞させて頂き、二十八年にはお東の住職様の法話と飯山の井上先生(連研中央講師)の法話を聴聞させて頂きました。

三つ目は、柏崎の原子力発電所を見学したことです。私は四回目の見学でしたので改良点を注目しました。警備身分証明、車内チェック、防波堤の高さ十五m、発電用トラック三台以上、消防車十五台以上、パトロール車、そして構内の案内説明女性の物腰の良さ。土曜日なので静かで人影がさっぱりでしたが、関係者人数は二千人以上のことでした。東京電力も大変でしょうが、大危険物です。危ないものには近寄るな!と感じました。

連研委員スタッフの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。次年度も連研が出来ますことを願います。

合掌



孫から学ぶ日々



新潟組 誓岸寺
宗村量子(釋称光)
中央教修一三五回

小学生一年と保育園児の二人の孫の世話に、娘宅へ通う毎日です。学童保育と、保育園の迎えに行った時から両親の帰宅まで、私は家政婦をしています。

宿題に付き合ひ、漢字の読み書き、足し算、引き算、国語教科書の音読と、今の小学生は忙しい。私も一緒に学んでいます。

歌好きの孫娘二人は、校歌を口ずさむ日々です。(高齢者の私に、厳しい?)個人レッスンで教えられ、やっと三番まで歌えるようになりました。「朝日をあびて美しく、そびえる弥彦、角田山」と。

「あさひ」は「あつさひ」と、「うつくしく」は「うつつくしく」と歌うのだという。校歌をマスターした後、今度は児童会の歌のレッスンが続いた。歌詞の全てのように、子ども達には健やかに、伸々と育って欲しいと願っています。

孫相手は疲れますが、日々成長ぶりを見ながら、私自身も育ててもらっている

ことに感謝し、さびた脳を奮い立たせている今日です。

「おかげさまで」という美しい言葉をいつも身体に入れてあります。今日の自分の嬉しい立場と環境に感謝する気持ちと私を支えてくれている多くの人々にも感謝です。今は、健康で足腰達者です。もう少し孫育て頑張りまーす。

合掌



《巻組》

伝灯奉告法要の様子



巻組 長光寺
梨本重雄(釋重願)
中央教修一九七回

平成二十八年十一月四日(金)、第二十五代専如門主伝灯奉告法要第三期の最初の日に、ボランティアの体験をしてきましたのでその様子をお伝えします。

御影堂をくぐり、お茶所に「一休み」で入ると、若い布教使さんたちの布教リレーが行われています。数人の方々がサイクルで法話されていますが、違う話をされます。

向かいの食堂兼売店「AKARI」に入り記念の式章を購入の後、特別公開されている飛雲閣を拝観。隣の唐門を訪れ、書院もと思いましたが、集合場所の伝道本部へ向かう時間となりました。

伝道本部前に平成二十三年三月の東日本大震災後の大きなパネルが設置されています。一人の男性がひざまずき、一輪の花をたむけています。背景はただ空間です。ただただ見入るばかりです。

六名のボランティアが門信徒教化部の方から奉仕内容の説明を受け、団体参拝者のお出迎えです。「ようこそお参りをいただきました」「ありがとうございます」などなど声掛けをすると、会釈があったり、ご苦勞様ですと返答があったり、触れ合いを感じます。西国からの団体参拝が多いようです。平成二十八年四月震災があった熊本から大勢の方が参拝されています。

法要が始まったら中に入ってもよいとの事ですので阿弥陀堂へ入りますと、正信偈で専如ご門主のお勤めの最中です。御影堂も同時進行のようです。モニターで様子が分かります。続いで「伝灯のつどい」では、大谷宗家の歩み、メッセージ、インタビューがあり、恩徳讃で閉会です。いずれもモニターで行事が中継されました。伝灯奉告法要は平成二十九年三月、四月、五月まであります。

最後に、こんなこともあるのかと驚いた事に、思いがけず与板組の団体参拝をお出迎えする事が出来ました。嬉しいことです。



合掌

伝統奉告法要参拝の旅



巻組 善了寺
種村昭久(釋淨教)
中央教修一五二回

十月二十六日より二泊三日の団体参拝に参加した。巻組総勢一七二名(バス五台)。早朝五時十分出発(五号車最終乗車)。巻潟東ICより北陸自動車道を走り、朝食、昼食は車中。京都東ICで高速を降り西本願寺着十二時五十分、阿弥陀堂入堂開始十三時。法要十四時開始、終了後に書院拝観。十七時過ぎ西本願寺を出発、琵琶湖湖畔琵琶湖ホテルへ。

二十七日、ホテルを八時三十分発。名神/山陽道を走り、姫路市播州の本願寺亀山御坊本徳寺を参拝、勤行後説明を聞く。元は西本願寺の北集会所が移築されたとの事(一八七三年三月)。

北集会所は幕末に一時新撰組が屯所として使用していた。建物の柱二本に当時の隊士の刀傷が残っている。拝観後近くの灘菊酒造へ。蔵の二階で昼食を、この蔵元には全国で三人目の女性杜氏が務めているとの事(蔵元の三女との事)。

休憩後世界文化遺産、国宝姫路城へ。小生二回目の見学、十三年ぶり。その後日本三名泉の一つ有馬温泉へ向かう。遊月山荘宿泊、旅最後の夜盛宴。
二十八日再度京都へ。東山山頂將軍塚青龍殿参拝。国宝青不動明王二童子像安置、平成二十六年十月建立、落慶。併せて木造の大舞台を新築眼下に京都市内が一望出来る。庭園等見学後、南禅寺へ。まだ紅葉には少し早い。真言宗知山派総本山智積院で昼食後、帰路に。あつという間の三日間で



本願寺

合掌

兵庫県姫路市亀山
本徳寺参拝



★おしらせ

【真宗教団連合新潟県支部 公開講演】

会場 本願寺新潟別院
 日時 平成29年3月29日(水)
 午後二時から四時頃まで

内容 講演
 第一部 若き日の親鸞聖人
 第二部 親鸞聖人の妻・恵信尼さま

講師 旭堂さくら (川本三栄子)
 プロフィール
 奈良県出身 講師・歌手・浪曲師
 橿原市観光大使
 古典の他、各地に伝わる歴史や物語をわかりやすいオリジナル講演で、七色の声を使い分け、様々な人物の心情の機微も自在に演じる。浄土真宗関係の講演で近年活躍中。



参加無料です。
 あなたのお参りをお待ちしています。

★おねがい

【第6回全国門徒推進員のつどい】

伝灯奉告法要 記念行事
 会場 本願寺阿弥陀堂・御影堂
 「伝灯奉告法要」参拝「記念講演」
 日時 平成29年5月2日(火)
 十時受付、十時四十五分入堂

講師 釋 徹宗
 講題 「うけつぐ伝灯 伝えるよろこび」

詳細につきましては、門信徒教化部より皆様へ送付されておりますのでご覧いただき、是非とも多くの方より参拝・参加をお願いいたします。教務所宛てお申込みください。



境内草取り



竹林伐採



清掃後の境内



法要受付！

|| 編集後記 ||

新潟別院の恒例法要(報恩講・謝恩講)では、門推協役員の方より受付を手伝っていただいております。参拝者の方々に笑顔の対応で法要雰囲気はずいぶん和らぎます。

又、月一回の清掃奉仕活動、冬囲いや撤去作業など、別院境内を綺麗にして頂き、門徒推進員の力に頼っており、本当に感謝の気持ちで一杯です。どうぞ、門推協のお仲間の方々、これからも宜しくお願ひいたします。そして、春と秋の恒例法要にお越しくください。お待ちしておりますね！

事務局